

# 備後 府中焼き

体験 やってみよう!



キテラスふちゅうでは、府中市のソウルフードである備後府中焼きを、お店の鉄板で作る体験ができます。  
(要予約)  
小野市長が作った府中焼きは、どれでしょうか？



正解は、QRコードを読み取って、カタログポケットで公開中！  
あなたは、分かるかな。



府中焼き  
サイコー



ができたところ。CSの意義と、地域と学校の連携は全てが一緒ではありません。全ての地域行事に子どもが入るといってもありませんし、全ての学校教育に地域が入ることもありません。学校のワールドの中や外で、子どもたちをどう育てていくのかというテーマを突き詰めていくのに、CSをベースに考えていけばよいと思います。昨年8月の全国コミュニティ・スクール研究大会で、有識者の方から、「府中市は次のステージにいける、そういう大会だった」と、評価いただきました。次のステージとは、学びをどのように充実させていくかにあると思います。

**市長** 全国コミュニティ・スクール研究大会が終点であってはいけませんし、次にどうつないでいくかというのは、考える必要があるポイントです。ただ、地域の方が、学校へ目を向けていただいている中で、その力をどんどん借りていってほしいし、地域にとっても、

子どもが関わってくれることに喜びを感じている方が多い。つながりがより強くなればよいと思います。後藤部長、改めて府中が持っている強み、もっと活用していけるんじゃないかという点は？

**後藤部長** 森川部長のお話の中にありましたが、府中市はものづくりのまちという点で、多種多様な産業が集まっているという特色を強みとして発信すること、さまざまな分野から府中市の産業に興味・関心を持って、一緒に何かやりたいと思ってもらえる方、府中市のファンを増やしていくのか。最近では「関係人口」と呼ばれています。府中市の魅力を外に発信して、そういった府中市のファン、府中市と関わりを持つ方々を増やしていくところに力を入れたらいいと思います。

**市長** 昨年、EV&ゼロハブを推進するワーキンググループを開催しましたが、その際、観光に協力したいという声がありました。そういう市

やまちづくりなどさまざまな分野での可能性があると思っています。最後に今年に懸ける思いを！

**森川部長** 私は、府中市ならではの観光商品づくりに取り組んでいきたいと思っています。昨年の秋に府中市観光協会で、キテラスふちゅうでの体験メニューをまとめたリーフレットを作成しましたが、観光客のニーズは「見る観光」から「体験する観光」へ変わっています。このような体験メニューを中心に、地域の方々や関係団体からお知恵をいただくとともに、外部の方から売れる商品となるか評価していただきながら、市外から訪れる観光客から魅力的に映り、実際に訪れて満足していただける観光づくりに進めていきたいと思っています。昨年、ビジョンの策定準備として、観光商品づくりを考えるワーキンググループを開催しましたが、その際、観光に協力したいという声がありました。そういう市

民の方々や、事業者にもご協力いただきながら、府中市がワンチームとなって、観光を作り上げていける年にしていきたいと思います。

**市長** よろしくお願ひします。後藤部長は？

**後藤部長** 府中の方と話をしている中で、「いこる」という言葉がとても好きになりました。炭に火がつき、赤くなった様子としてよく使われるようですが、府中を見渡してみれば、人、企業、教育など、既に火がついている、いこっているもの、たくさんあると思います。しかし、残念ながら、いこっていることが知られていないのが課題だと思っています。そういうものを府中市外へ積極的に発信していきたい。府中市に共感していただき、関係人口を増やす取り組みに力を入れたいです。将来的に府中市に移住してくれたり、府中市の企業や人と継続的に関わってくれ

る人が多く生み出せるよう頑張ります。スポーツ分野では、オリンピック・パラリンピックの開催を絶好の機会と捉え、マラソン大会の開催や、芝生グラウンドの整備を進めるなど、市民の皆さんがスポーツに親しめる環境の整備にもしっかりと取り組んでいきたいです。

**市長** 東京のアンテナショップN E K Iに行くたびに府中に関わりのある方とお会いします。お会いする方々は、「地元のために何かしたい」と必ず言われています。その方たちに地元府中が輝こうとしているという気持ちに込める方法やシステムを考えていきたいと思います。

**荻野部長** 私は、子どもたちや市民の方が、生涯学習の環境を作っていきたいと思っています。子どもたちに関して、将来の府中、そして日本を支える人材として大切に育てていきたいという強い思いがあります。府中市は、小中一貫教育とCSを両輪として、土台はしっかりとしています。日ごろから学校の先生方と地域と家庭が連携して子ども

ちを育てている中で、私たち行政ができることは、知恵を出し、環境整備などをすることだと思っています。市長・教育長の下で精一杯成果を出していきたいと思っています。

**市長** 観光・教育・地域振興分野に、新たな輝きが生まれつつあるというのを改めて感じさせてもらいました。府中市はものづくりのまちと言われてきましたが、ただ、それだけでなく、さまざまなものを磨き上げて輝かせ、発信していかないといけないと思います。今年、府中市をしっかりと発信する年としていきますので、皆さんのご協力をお願いいたします。一緒に頑張っていきたいと思います。

